

人は教えても育たない—— “社会人の青春＋野外研修”で人は育つ



株式会社 シナジーアーク

一般社団法人 日本野外研修ワークショップ協会

兵庫県尼崎市西昆陽 1-16-5 TEL 06-7172-9052

URL : <https://synergy-ark.com/>



多くの経営者や部下を持つ人たちにとっての課題である人材育成。部長は、教えて育てるのではなく、独自の視点から人材が育つ極意を発信している。本日は、タレントの布川敏和氏が『シナジーアーク』を訪問し、社長が提唱する人材育成法について詳しく伺った。

代表取締役

shitomi shinsuke

部 晋輔

interview

interviewer

布川 敏和



——早速ですが、お名刺を拝見すると、「野外研修とスクールプロセス型人材育成」というフレーズがありますが、これは？

私が提唱している人材育成方法です。多くの経営者、部下を持つ方にとって、人材育成は重要であり、頭を悩ます仕事でもあると思います。私が思うのは、どんなにノウハウを教え込んでも、本当の意味で人は育たないということです。

——それは、多くの人にとって新鮮なご意見だと思えます。では、どうすれば人は成長するのでしょうか。

人が成長する要素は、実は青春時代に詰め込まれています。青年が大人へと成長する特別な期間。葛藤、挫折、そして達成感、喜びなどを味わいませんでしたか？たとえば、クラブ活動や恋愛で上手くいかない時に、仲間同士で支え励まし合い、泣いたり喜んだりした。そんな経験を青春時代にしたと思います。振り返ってみると、そういう経験によって自分たちは成長したなと思いませんか。大人になったら青春は終わったと考える人が多いですが、私は社会に出て社員になってからだって、青春は続いていると思っています。社内で信頼できる仲間と、目標に向かって泣いたり笑ったりしながら、楽しく乗り越える。その中に成長する要素があるんです。器用に立ち居振る舞おうとしたり、挑戦することをやめてしまえば、人は成長しません。

——信頼する仲間と共に挑戦することで、生きていることを実感しますよね。

今は、イキイキとしていない大人が多いように感じます。最近の子どもは夢がないなどと言われますが、そもそも大人たちが人生を楽しんでいる姿を見せなければ、子どもたちは大人になることを楽しみに思えません。だから、大人がもっとイキイキできる“社会人の青春”というコンセプトで、お互いに承認し合い、信頼関係を築き、支え合い、楽しく挑戦しながら働いてほしい。そして、大人として子どもから憧れられる存在になってほしい。またそれを後押しする組織であってほしいと願っています。

——「野外研修」というのは？

人が育つ上で、上司と部下が互いのことを知り、信頼関係を築くことも大事な要素なんです。プライベートなことまで相談できる関係を築き、上司の方には公私ともに部下の面倒を見てほしい。野外研修は、その場で共通体験ができるから、信頼関係を築くにはすごく効果的なんです。私が関西支部長を務める『日本野外研修ワークショップ協会』のプログラムでは、チーム形成のプロセスを一泊二日で体験するんですが、楽しみながら互いの価値観や考え方の違いを共有し、本音で話し合うことで認め合ったりと、様々なプログラムを共に体験する中で距離が

一気に縮まります。夕食後にはお酒を飲んだり、焚き火を囲んだりして、転地効果もあって素の自分を見せ合い、そして認め合う。「同じ釜の飯を食った仲」として、一気にチーム力も上がるので、新入社員研修や内定先研修に利用される企業も多いんですよ。

——そんな仲間がいる会社なら、離職もなくなるでしょうね。本日伺ったお話を、ぜひ多くの方に知っていただきたいです。

社会人の方々には、楽しいことは思いつき楽しみ、壁にぶつかっても仲間と支え合いながら乗り越えることで成長してほしい。組織がするべきは、そうして人が育つ環境、働きたいと思える組織づくりです。それによって、定着率が高まります。それを伝えていきたいですね。

(2020年3月取材)



「人は青春時代に詰め込まれた要素を通して成長する話や共通体験が信頼関係を築く話、どれも納得しました。自身も思い返せば、そうでした。それが人材育成にも必要な要素なのですね」 布川敏和・談